

令和 8 年度

運営に関する計画

子どもも教職員も失敗をおそれず
挑戦する学校

【2026 片江小学校 P B S 大作戦】



K A ... **か**がやけ
T A ... **た**くさんの
E ... **え**がお



大阪市立片江小学校

大阪市立片江小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、大阪市教育振興基本計画を踏まえて、「知・徳・体の調和のとれた子どもの育成」を学校教育目標として掲げ、教育活動を進めています。一人一人に内在している「学力」「体力」「心の力」を総合的に駆使しながら、課題を解決していく子どもの育成を図っています。子どもの「学力」「体力」「心の力」の実態としては次のようなことが言えます。

- ・令和7年度の大阪市学力経年調査の本校の各学年・各教科の平均正答率は、大阪市よりもやや低い傾向がみられます。
- ・休み時間には運動場に出てよく遊び、元気な児童が多くいます。ただ、全国体力・運動能力・運動習慣調査の結果では、全般的な体力は全国及び本市の平均を下回っています。
- ・音楽科や図画工作科において表現力が高く、学習発表会や作品展では保護者や地域の方々から高い評価を得ています。
- ・穏やかで優しく、素直で明るい子どもが多くいます。一方で、2年生以上の児童のうち、20%以上には、言語、発達特性、生活背景、行動面など何らかの配慮が必要であると考えられます。
- ・保護者や地域の方々は、概ね本校の教育活動に協力的で、地域に開かれて安心して通うことのできる学校であることを強く願っておられます。本校では保護者や地域からの温かい力添えを受けながら、みんなとともに楽しく学び続け、「子どもも教職員も失敗をおそれず挑戦する学校」をめざしています。一方で、近年、自分の子どもに一切の不利益がないよう、また、一切のトラブルがないよう望んでいる保護者がいます。そのため児童への指導だけでなく、保護者への対応が増加しています。

昨年度の総括より、特に今年度は以下の点に気をつけて学校運営を行っていきます。

- ・令和7年度、小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合が、平均81.3%となりました。特に、現4年生では、

「当てはまる」：71.7%、

「どちらかといえばあてはまる」：12.0%

「どちらかといえばあてはまらない」：10.9%、

「あてはまらない」：4.3%

となり、一見すると、いじめを容認するよう感じられる回答が15.2%になりました。心情面、行動面ともに、いじめを「しない」「させない」「見逃さない」児童の育成に努めていきます。

- ・大阪市学力経年調査・児童質問紙における「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に対し、肯定的回答を示した児童は、平均80.9%となり、目標を達成することができました。引き続きPBS(Positive Behavior Support)を中心とした取り組みを通して子どもたちの自己肯定感や自己有用感を高めていきます。

- ・不登校児童の在籍比率は減少していませんが、現在、個々のケースに担任教員を中心として丁寧に対応しています。引き続き関係諸機関との連携、SSRの活用を通して、対応を進めていきます。
- ・児童対象の学校教育アンケートの「学校は楽しいです」の肯定的回答は92.4%でした。さらに児童が「楽しい」と感じることができるよう、応用行動分析学(ABA)に依拠したPBS(ポジティブな行動支援)に全校で取り組んでいき、子どもたちが認められ、称賛される場面を多く作っていきます。
- ・児童対象の学校教育アンケートの「自分からすすんであいさつはできています」の肯定的回答は86.9%でした。子どもたちが進んであいさつするような方法を開発し、取り組みたいと思います。
- ・児童対象の学校教育アンケートの「元気グループ(異学年グループ)の活動が楽しいです」の肯定的回答は83.0%となりました。リーダーシップ・フォロワーシップの育成を行い、互いに協力し合う関係性の構築に努め、活動の充実に努めます。
- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合の平均は33.1%となりました。今後さらに教員一人一人が授業改革に努め、主体的、対話的で深い学びとなるよう取り組んでいきます。
- ・令和7年度の小学校学力経年調査における、国語および算数の平均正答率の対全国比は、

国語	3年生：96.1	4年生	91.9	5年生	91.2
算数	3年生：95.5	4年生	89.3	5年生	97.1

 となりました。今後も児童一人一人の実態に応じた取組を充実させ、学力の向上をめざしていきます。
- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、77.4%となりました。子どもたちの「興味・関心」を引き出し、意欲をもって楽しく学ぶことができるような授業の開発に努めます。
- ・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は72.4%となりました。教職員研修を通して、子どもたちが達成感を味わうことができるような授業づくりを今後も行っていきます。
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は63.9%となり、令和6年度の実績値よりも低下しました。
- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数は、タブレットがChromebookに変わった12月以降は年間授業日の50%以上になり、児童の8割以上が学習者用端末を活用するようになってきました。ICTの活用は、子どもたちの未来には必須条件です。今後も、情報モラル教育を含め、ICTの活用を進めていきます。
- ・短時間勤務や部分休業を取得していない、フルタイムの教員26名のうち、時間外勤務が月45時間未満の教員は20名で、56%を超えました。しかし、休日に学校に来て仕事をしているにもかかわらず、出勤扱いにしていない教員や休日に仕事を持ち帰っている教員も多く、働き方改革は時間だけの問題ではないと考えます。また、家庭の事情、本人の体調不良、定期的な検査や治療、子どもの看護、家族の

介護などによりどうしても休まなければならない場合がありますが、一部の保護者からは教員、特に担任が休むことに対して否定的な意見が出る場合があります。補教体制をとるにも人員不足は否めません。本市独自の教職員定数の改善を教育委員会に求めていくとともに、どのような指導・実践が効率的、効果的であるのか、教員相互に情報交換をして、スキルアップをしていきたいと思ひます。

- ・大阪市小学校学力経年調査の「読書は好きですか」の結果では、
3年生：60.8% 4年生：68.6% 5年生：65.5%
6年生：64.7%

となりました。学校図書館主任や主幹学校司書を中心に、東成区役所とも連携しながら読書活動の充実に努めます。

- ・児童対象の学校教育アンケートの「学習者用端末を使った学習は楽しい」の肯定的回答は、90.0%となりました。引き続き学習のどのような場面で活用し、どのような効果をもたらすのか吟味しながら活用していきます。
- ・保護者対象の学校教育アンケートの「学校は、必要に応じた保護者との連絡や情報発信を進めている」に対する肯定的回答は、92.4%でした。また、「そう思う」という強い肯定が55%と半数を超えていました。今後も、本校の取組や、主張を積極的に発信し、保護者の理解を得て教育活動を進めていこうと思ひます。

中期目標

最重要目標Ⅰ【安全・安心な教育の推進】

〈大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標〉

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思ひますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にします。
(同様の目標の令和7年度の達成率は、92.4%)
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にします。
(令和8年度よりの新規項目)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にします。
(令和7年度の達成率は、80.9%)
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させます。
(令和7年度は13名 約2.4%)

〈学校独自の目標〉

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にします。
(令和7年度は、81.3%)
- 児童対象の学校教育アンケートの「自分からすすんであいさつはできています」の肯定的回答を90%以上にします。
(令和7年度は、86.9%)
- 児童対象の学校教育アンケートの「元気グループ（異学年グループ）の活動が楽しいです」の肯定的回答を88%以上にします。
(令和7年度は、83.0%)

最重要目標2【未来を切り拓く学力・体力の向上】

〈大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標〉

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を44%以上にします。（令和7年度は、33.1%）
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.2ポイント向上させます。
国語 現4年生：96.1 現5年生：91.9 現6年生：91.2
算数 現4年生：95.5 現5年生：89.3 現6年生：97.1
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にします。

（令和7年度は、63.9%）

〈学校独自の目標〉

- 児童対象の学校教育アンケートの「学習が好きです」（各教科平均）の肯定的回答を、85%以上にします。

（令和7年度の結果）

国語科：71.5% 算数科：73.6% 社会科：69.6% 理科：84.2%
音楽科：83.4% 図画工作科：92.8% 家庭科：75.2% 体育科：88.5%
平均：79.9%（外国語・生活科は不明）

最重要目標3【学びを支える教育環境の充実】

〈大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標〉

- 大阪市小学校学力経年調査の児童質問紙における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を50%以上にします。（新規設定）
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月30時間以下にします。（新規設定）
- 大阪市小学校学力経年調査の児童質問紙における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を75%以上にします。（令和7年度は64%）

〈学校独自の目標〉

- 保護者対象の学校教育アンケートの「学校は、必要に応じた保護者との連絡や情報発信を進めている」に対する肯定的回答を95%以上にします。（令和7年度は92.4%）

2 中期目標の達成に向けた年度目標

最重要目標1【安全・安心な教育の推進】

〈大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標〉

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にします。（中期目標は93%）
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にします。（中期目標は95%）
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にします。（中期目標は85%）
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させます。（令和7年度は13名 約2.4%）

〈学校独自の目標〉

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を82%以上にします。（中期目標は、85%）
- 児童対象の学校教育アンケートの「自分からすすんであいさつはできています」の肯定的回答を85%以上にします。（中期目標は、85%）
- 児童対象の学校教育アンケートの「元気グループ（異学年グループ）の活動が楽しいです」の肯定的回答を83%以上にします。（中期目標は、88%）

最重要目標2【未来を切り拓く学力・体力の向上】

〈大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標〉

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にします。（中期目標は、44%）

- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.2ポイント向上させます。

（令和7年度の結果

国語	現4年生：96.1	現5年生：91.9	現6年生：91.2
算数	現4年生：95.5	現5年生：89.3	現6年生：97.1

- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にします。（中期目標は、70%）

〈学校独自の目標〉

- 児童対象の学校教育アンケートの「学習が好きです」（各教科平均）の肯定的回答を、82%以上にします。

（令和7年度の結果

国語科：71.5%	算数科：73.6%	社会科：69.6%	理科：84.2%
音楽科：83.4%	図画工作科：92.8%	家庭科：75.2%	体育科：88.5%
平均：79.9%（外国語・生活科は不明）			

最重要目標３【学びを支える教育環境の充実】

〈大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標〉

- 大阪市小学校学力経年調査の児童質問紙における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週３回以上と回答する児童の割合を５０％以上にします。
(新規設定)
- 教員の１か月あたりの平均時間外勤務時間を月２７時間以下にします。
(新規設定)
- 大阪市小学校学力経年調査の児童質問紙における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を６５％以上にします。
(中期目標は７５％)

〈学校独自の目標〉

- 保護者対象の学校教育アンケートの「学校は、必要に応じた保護者との連絡や情報発信を進めている」に対する肯定的回答を９３％以上にします。
(中期目標は９５％)

３ 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立片江小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年 度 目 標	達成 状況
最重要目標1【安全・安心な教育の推進】 〈大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標〉 ○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にします。 （中期目標は93%） ○ 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にします。 （中期目標は95%） ○ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にします。 （中期目標は85%） ○ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させます。 （令和7年度は13名 約2.4%） 〈学校独自の目標〉 ○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を82%以上にします。 （中期目標は、85%） ○ 児童対象の学校教育アンケートの「自分からすすんであいさつはできています」の肯定的回答を85%以上にします。 （中期目標は、85%） ○ 児童対象の学校教育アンケートの「元気グループ（異学年グループ）の活動が楽しいです」の肯定的回答を83%以上にします。 （中期目標は、88%）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
取組内容①【(1)安全・安心な教育環境の実現】 ○ 児童の自己肯定感が高まるように、各教科の学習で自己の目標を設定し、その達成のために努力する過程を教職員が認め、称賛するようにします。	
指標 ・「学習カード」や「ノート」などを活用して、毎月称賛のコメント等をしたり、花丸をつけたりします。	
取組内容②【(1)安全・安心な教育環境の実現】 ○ 児童の自己有用感が高まるように、特別活動や教育課程外の清掃・給食などで、他者のために頑張ることができるよう教職員が働きかけ、頑張っている過程や結果を教職員や周囲の友だちが認め、称賛するようにします。	
指標 ・各学年で重点目標を設定し、PBS（ポジティブ行動支援）の取り組みを年間二回以	

上実施します。	
取組内容③【(2)豊かな心の育成】 ○ 月別生活目標や、児童会の取組みに「あいさつ」を位置づけ、自分からすすんであいさつができる児童を育てます。	
指標 ・学級や児童朝会などであいさつのよさについて知らせ、児童会や学年で年に一回以上の具体的な取り組みを実施します。	
取組内容④【(2)豊かな心の育成】 ○ 元気グループ（異学年グループ）の活動を積極的に行います。	
指標 ・学期に一回以上の元気グループの活動を実施します。	
取組内容⑤【(2)豊かな心の育成】 ○ 他の児童が頑張っていることを認め、具体的に称賛する機会を設定します。	
指標 ・行事等で他の学年の取り組みや日常生活の中で見つけたよい行動に対して、メッセージカードなどを年間3回以上教職員や児童が書いて渡すようにします。	
取組内容⑥【(2)豊かな心の育成】 ○ いじめや、いのちについて考える日など、いじめをなくす取組みを全学級で行います。（学級活動や道徳など）	
指標 ・いじめのアンケート調査を6月・11月・2月に実施し、当該児童からの訴えを的確に聞き取ります。	
取組内容⑦【(2)豊かな心の育成】 ○ 通級指導を受けている児童や、特別支援学級に在籍している児童の情報共有を行い、学校全体で児童を指導していくようにします。	
指標 ・月一回の児童理解や特別支援教育全体会などを活用して、配慮を要する児童や特別支援学級に在籍する児童の情報の共有を図ります。 ・自立活動に関する研修を年3回実施します。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立片江小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年 度 目 標	達成 状況																		
最重要目標2【未来を切り拓く学力・体力の向上】 〈大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標〉 ○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にします。 （中期目標は、44%） ○ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.2ポイント向上させます。 （令和7年度の結果 <table><tr><td>国語 現4年生：96.1</td><td>現5年生：91.9</td><td>現6年生：91.2</td></tr><tr><td>算数 現4年生：95.5</td><td>現5年生 89.3</td><td>現6年生 97.1）</td></tr></table> ○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にします。 （中期目標は、70%） 〈学校独自の目標〉 ○ 児童対象の学校教育アンケートの「学習が好きです」（各教科平均）の肯定的回答を、82%以上にします。 （令和7年度の結果 <table><tr><td>国語科：71.5%</td><td>算数科：73.6%</td><td>社会科：69.6%</td><td>理科：84.2%</td></tr><tr><td>音楽科：83.4%</td><td>図画工作科：92.8%</td><td>家庭科：75.2%</td><td>体育科：88.5%</td></tr><tr><td colspan="4">平均：79.9%（外国語・生活科は不明））</td></tr></table>	国語 現4年生：96.1	現5年生：91.9	現6年生：91.2	算数 現4年生：95.5	現5年生 89.3	現6年生 97.1）	国語科：71.5%	算数科：73.6%	社会科：69.6%	理科：84.2%	音楽科：83.4%	図画工作科：92.8%	家庭科：75.2%	体育科：88.5%	平均：79.9%（外国語・生活科は不明））				
国語 現4年生：96.1	現5年生：91.9	現6年生：91.2																	
算数 現4年生：95.5	現5年生 89.3	現6年生 97.1）																	
国語科：71.5%	算数科：73.6%	社会科：69.6%	理科：84.2%																
音楽科：83.4%	図画工作科：92.8%	家庭科：75.2%	体育科：88.5%																
平均：79.9%（外国語・生活科は不明））																			

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【(4) 誰一人取り残さない学力の向上】 ○ 児童が学習に対して興味・関心をもつことができるよう、導入や話し合いの場などの工夫をし、教員一人ひとりの授業力を向上させて学力の向上を図ります。 また、体験的な学習などを取り入れ、意欲の向上を図り、成就感をもたせ、児童の学習意欲を高める取組みを行います。	
指標 ・一人1回以上の公開授業を行います。 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率を、同一母集団において比較し、いずれも前年度より0.2ポイント向上させます。	

取組内容②【(4) 誰一人取り残さない学力の向上】 ○ 学年に応じた家庭で行う課題の出し方を工夫し、児童が「できる」「わかる」という楽しさを味わうことができるようにします。 指標 ・児童対象の学校教育アンケート「毎日きちんと家庭学習（宿題）をしています。」の肯定的回答を95%以上、「自主学習に取り組んでいます。」の肯定的回答を60%以上にします。 ・学校だよりや学年だより、学級だよりで自主学習の大切さを保護者に啓発します。	
取組内容③【(5) 健やかな体の育成】 ○ 準備運動に体づくり運動や「走る」「跳ぶ」などの基礎的な運動を取り入れ、児童の基礎的な運動能力を養うようにします。また、休み時間に運動する機会を持つことで、子どもの体力向上に取り組めます。 指標 ・準備運動に「走・跳」の運動を取り入れ、毎時間実施します。 ・運動の仕方を伝えるイベントを年2回以上設けます。	
取組内容④【(5) 健やかな体の育成】 ○ 児童の健康促進を図るため、健康な生活についての指導と保護者への啓発を充実させます。 指標 ・健康に関する強調週間を年2回以上実施します。 ・給食だよりや保健だよりを使って、児童への指導と保護者への啓発を行います。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立片江小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
最重要目標3【学びを支える教育環境の充実】 〈大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標〉 ○ 大阪市小学校学力経年調査の児童質問紙における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を50%以上にします。（新規設定） ○ 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月27時間以下にします。（新規設定） ○ 大阪市小学校学力経年調査の児童質問紙における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を65%以上にします。（中期目標は75%） 〈学校独自の目標〉 ○ 保護者対象の学校教育アンケートの「学校は、必要に応じた保護者との連絡や情報発信を進めている」に対する肯定的回答を93%以上にします。（中期目標は95%）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【(6) 教育DX(デジタルトランスフォーメーションの推進)】 ○ 視覚支援や意思疎通のための一助となるICT機器を活用した授業を各学年で取り組むことにより、情報活用能力の向上を図ります。	
指標 ・各学級で児童が学習用端末を活用した学習を週に3回以上行います。	
取組内容②【(8) 生涯学習の支援】 ○ 東成区役所と連携して、50冊読書や100冊読書の取組や、年間表彰、読書チャレンジの取組を行います。 ○ 学校として低学年100冊、中学年50冊、高学年30冊で表彰します。	
指標 ・図書の時間に学校司書と連携し読み聞かせやアニメーション等の取り組みを月2回以上する。 ・図書館開放時に「本となかよしタイム」をする。	

取組内容③【(7) 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ○ 「学校園における働き方改革プラン」が掲げる達成基準を目標として、会議や行事の精選など教職員の働き方改革を推進し、教職員が安全に勤務できる職場環境づくりに努めます。	
・特定の教員に業務が集中していないか、校務分掌の見直しを行います。 ・適宜、各担当者が小部会で案を練り、全体会議の時間短縮を図ります。 ・行事終了後の意見は Forms で集約し、分析は Copilot を用いて、文書作成の時間短縮を図ります。 ・ゆとりの日（18 時セット）を週 1 回設定します。 ・「教員の時間外勤務の状況」を全体に周知し共通理解を図ります。	
指標 ・年度末に教職員アンケートを実施し、「会議の精選・短縮」「ICT 活用による業務短縮」について、肯定的な回答を 60 % 以上にします。 ・効率的な ICT 活用をめざして、年に 2 回以上の教職員研修を行います。 ・教職員対象の「こころの講習会」を年間 1 回以上開催します。	
取組内容④【(9) 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 ○ 学校からの手紙の表現を、できるだけ簡略化し理解しやすい文章に変更します。 ○ 学校 HP の更新を定期的に行い、行事の報告だけでなく児童のようすや頑張りが伝わるような文章表現にします。	
指標 ・保護者対象の学校教育アンケートの「学校からの連絡はわかりやすい」の肯定的回答を 80 % 以上にします。 ・各学年の HP の更新回数を月 2 回以上とします。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	